

令和7年度ババール園事業計画書

1. 施設理念

- ・子どもたちの健やかな成長を支え、共に育ちあう環境づくりに努めます。

2. 施設方針・テーマ

- ・ 子ども一人ひとりを大切にし、養護と教育を一体的に行い質の高い保育の提供に努めます。
- ・ 園と家庭、地域社会との連携を図り、子育て支援に努めます。
- ・ コンプライアンスを遵守するとともに、人権を尊重し安心できる環境作りに努めます。

3. 実施事業及び定員

- (1) 保育所 定員 90 名 (0, 1, 2, 3, 4, 5 歳児各クラス 15 名)

(2) 保育所事業

延長保育事業

乳児保育事業

休日保育事業

障がい児保育事業

一時預かり事業

病児保育事業

4. 重点目標

抱負・目標

- ・ 子育て世代の保護者への情報発信を始めとした保護者対応や保護者支援に努める。
- ・ 施設理念を職員間で共有し、子どもの人権を大切にした保育への意識を高め保育の質の向上に努める。
- ・ 特色ある保育の展開。(各種事業の実施・地域資源の効果的活用)
- ・ 働きやすい職場作りとチームワークの構築。

核家族化、少子化傾向が進む中、家族の機能が変化しており。以前にも増して園の子育て支援の役割が高まっている。ホームページでの情報発信や、ICTを使ったドキュメンテーション、連絡帳などを活用し、子どもの育ちや園の取り組みを伝え、保護者の理解や共感を高めていきたい。休日保育、病児保育の委託事業を継続し地域の子育て支援に貢献したい。子どもたちの望ましい未来を作りだす力を培うための保育を常に意識しながら、職員一人一人、保護者、近隣地域、各事業所が共に助け合える関係性を築き、安心・安全が確保される環境づくりに努めていきたい。

- (1) 人財育成と職場定着
 - ① 入職時の初期指導の充実を図る（新規採用・育休明け職員等の復帰プログラム活用）
 - ② 職員の資質向上を図る。（各種研修への積極的参加、園内研修の充実）
 - ③ 労働災害防止と働きやすい職場づくりに努める。（ＩＣＴ活用等 DX 促進による事務業務の軽減）
- (2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）
 - ① 子どもの生涯にわたる生きる力の基礎を育む。（基本的生活習慣の形成）
 - ② 子どもの人権に配慮した保育を行い、保護者と連携しながら子どもの育ちを支えていく。（「人権擁護のためのセルフチェックリスト」活用。）
 - ③ 保育ＩＣＴシステムのドキュメンテーションを活用し、子どもの活動や成長を視覚的に記録、発信し保護者の理解を深めていく。
- (3) リスク対策（感染・安全・災害等）
 - ④ 様々な感染対策に組織的に取り組む。
 - ⑤ 防災対策の強化。（災害時用テント購入（施設機能加算））
 - ⑥ 危機管理対策の充実。（ヒヤリハット事案を速やかに職員間で情報共有する。）
- (4) 施設・設備整備
 - ① 修理箇所の早期発見と早期対応に努める。（環境委員による定期巡回の実施）
 - ② 0歳児室前廊下の床修繕を行う。
 - ③ タブレットを購入し業務の効率化を図る。
- (5) 地域連携・社会貢献
 - ① 近隣地域（法人内事業所 ボランティア）との交流を図る
 - ② 地域子育て支援の一翼を担う（オープンデー、子育て相談）
 - ③ 病児、休日保育の充実を図り、保護者の就労をサポートする。
- (6) 経営管理
 - ① 関係機関との連携を図り、入園児数を安定的に確保すると共に運営費の適切化を進めていく。（副食費の値上げ）
 - ② 職員間で経営状況を共有し、参画意識の向上と省エネ対策を図っていく。
 - ③ 委託事業の運営管理を適切に行う。（病児保育の予算管理、休日、一時保育の予約に伴う業務）